

5月7日(金)新しい辞書を手に入れました

今日は朝から、1年生対象に英語の辞書の販売がありました。

英和辞典、和英辞典、英和と和英の合本3種類が用意されていましたが、一番人気は、英和と和英が一冊になった合本辞書でした。80冊用意されていたものがほとんどなくなったそうです。



「ひのたいむ」の時間に朝読書ならぬ辞書読書をしている生徒もいました。

この光景を見ていて思ったことがあります。これからの時代、「辞書」というものがどうなっていくのだろうということ。「辞書」と言っても紙で本の形になったものです。

もう既に高校では、入学と同時に電子辞書の購入を勧める学校もたくさんあります。また、これから1人1台のタブレットが完備されるとそれを使って言葉を調べることができます。しかし、脳科学的には、紙の「辞書」を使う方がよいという説もあり、これからの時代何が正解なのか迷うところです。

そのような中で、必要なのが「取捨選択できる力」なのでしょうか。今までから当然必要だった力ですが、これからますます、「自分で選ぶ」「自分で決める」力が必要になってくるなど改めて感じました。